

経済概況（ベネト州）

2022年8月
在ミラノ総領事館

基礎データ

* 括弧内の％は伊全体に占める割合

- 面積：18,345km²（6.1％） ●人口：4,854,633人（8.2％、2022年）
- 名目GDP：1523億4060万ユーロ（9.2％、2020年）
- 1人あたりの名目GDP：31,253ユーロ（伊27,820ユーロ、2020年）
- 経済成長率：+7.6％（伊+6.6％、2021年速報値）
- 失業率：5.3％（伊9.5％、2021年）
- 輸出額：702億5249万ユーロ（13.6％、前年比+16.7％、2021年）
- 主要輸出品目：一般製造用機械、特殊製造用機械、手工業製品、電気機器、衣類、写真用機器・光学機器・時計、金属加工品（出典：伊国立統計局（ISTAT）及び伊中銀）

対日貿易

- 対日輸出：5億279万ユーロ（1衣類 2特殊製造用機械 3カバン類 4飲料）
- 対日輸入：6億9176万ユーロ（1道路用車両 2エンジン類 3特殊製造用機械 4写真用機器・光学機器・時計）（2021年、出典：ISTAT）

経済動向

<2022年第1四半期>（ベネト商工会議所レポート）

- 同州経済成長率は2022年+2.4％、2023年+2.7％の見通し（2022年4月時点。）。1月時点では2022年のGDP成長率予測は+4.2％であったが、国内需要、家計消費、輸出の悪化を受けて下方修正された。
- 第1四半期の同州鉱工業生産は前期比で+2.4％、前年同期比で+8.9％上昇。また工場稼働率も76％に上昇し、受注により保証されている生産期間も76日間と、前期比で10日間長くなっている。
- 第1四半期の海外市場での受注額は+11.8％増加しており、同時に国内市場での受注額も+11.4％増加。特に衣類・皮革品（前年同期比+15.7％）と金属類（同比+13.2％）が牽引した。一方、ゴム・プラスチック類は-4.5％と唯一の減少となった。
- 総売上額は年間ベースで+14％増加しており、売上額の著しい増加は、現在進行中の製品価格の上昇の影響によるものである。
- 企業信頼感、短期的な見通しに基づく予想であることに注意しなければならないが、物価上昇の影響は同州企業家らの感情にまだ及んでおらず、現在も生産活動はコロナ後の経済回復期を享受しているようであり、第2四半期の企業信頼感も依然良好なままとなっている。

